

令和 6 年度、令和 7 年度の主な取組について

- ① 令和 6 年度の主な取組実績
- ② 令和 7 年度の主な取組

令和 7 年度
大津市交通安全対策会議委員会

①令和6年度の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(1) 道路の見通しの確保

①見通し確保のための植込撤去工事

【概要】市道における交差点・横断歩道・屈曲部等における植栽等の撤去等

[青山八丁目] 青山中学校前

市道幹1104号線・東1868号線交差点 (※P4 No.⑫)

(施工前)



(施工後)



①令和6年度の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(1) 道路の見通しの確保

①見通し確保のための植込撤去工事

令和6年度（下半期） 施工実績

No.	施工箇所	路線名	施工内容
①	和邇中浜	県道高島大津線、市道幹1105号線 交差点	植込み伐採、張コンクリート
②	水明二丁目	市道北6002号線 交差点ほか	支障枝撤去
③	真野六丁目	市道幹1009号線、市道北1804号線 交差点	街路樹撤去、舗装
④	真野一丁目	市道幹1075号線（堅田駅西口）	植樹柵の張コンクリート
⑤	本堅田四丁目ほか	市道幹2008号線ほか 交差点	街路樹撤去、舗装
⑥	今堅田二丁目ほか	市道幹2008号線 交差点ほか	街路樹撤去、張コンクリート
⑦	本堅田五丁目	市道幹1014号線（堅田駅東口～県道高島大津線）	街路樹撤去、張コンクリート
⑧	本堅田五丁目	市道幹1014号線（堅田駅東口ロータリー）	街路樹撤去、張コンクリート
⑨	雄琴北一丁目	市道幹1076号線、市道北3518号線 交差点	植込み伐採、張コンクリート
⑩	千野三丁目	市道幹2010号線、市道北4332号線 交差点	支障木伐採
⑪	一里山七丁目	市道東3526号線、市道東3527号線 交差点	街路樹撤去
⑫	青山八丁目	市道幹1104号線、市道東1868号線 交差点ほか	街路樹撤去、張コンクリート
⑬	青山三丁目	市道東1841号線 横断歩道部ほか	街路樹撤去

※令和6年度（上半期実績）：11件
年間実績：22,383,160円

【大津市の道路、施設の見通し確保に係る設計・管理上の指針】等に基づき撤去等を実施
（令和7年4月に「大津市街路樹等管理ガイドライン」を策定）

①令和6年度の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(1) 道路の見通しの確保

②カーブミラー設置事業費補助

基金活用事業

【概要】道路管理者の設置対象とならない私道等の交差点等のカーブミラーを自治会が設置する場合、費用の一部を助成。

【助成額】補助率：1 / 2（上限5万円）

【実績】3件・126,000円

③道路等の見通しを確保するための指針の周知

【目的】見通しに配慮した道路・市有施設の整備推進及び民間施設の取組推進

【主な項目】

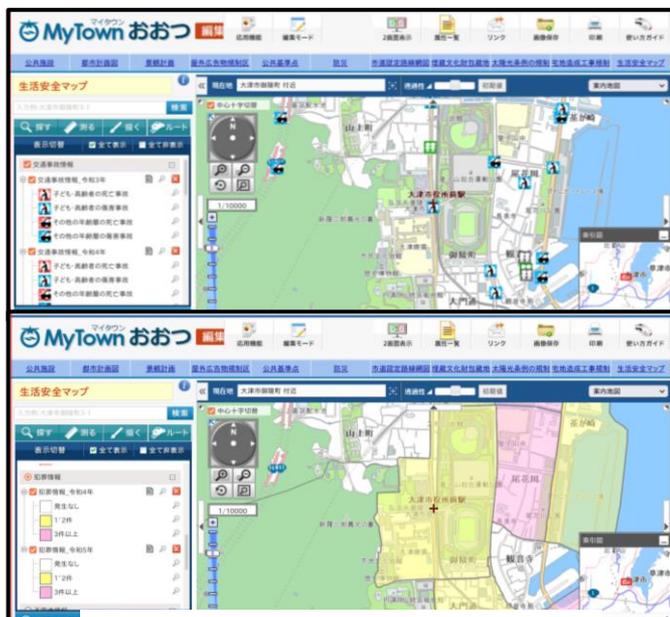
- ・道路（植栽、街路樹、交差点の隅切、交通安全施設等）
- ・市有施設（出入口・門扉、門・柵・塀・植栽等）
- ・民間施設（市有施設に準じた取組の促進）

① 令和6年度の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(2) 交通事故情報の活用と発信

生活安全マップ・生活安全ポータルサイトを随時更新

【概要】 交通安全、防犯、犯罪被害者等支援の情報に特化したウェブサイトを随時更新し、分かりやすく情報を発信。



↑交通事故・犯罪情報を視覚的に把握



↑生活安全ポータルサイト

①令和6年度の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(3) 自転車の安全利用

①大津市幼児2人同乗用電動自転車購入費助成

基金活用事業

【概要】 高い安全性を備えた幼児2人同乗用の電動自転車の購入費用の一部を助成し、自転車の安全利用を促進。

【助成額】 上限2万円/件

【実績】 124件

2,480,000円

②自転車乗り方教室の開催

基金活用事業

【概要】 子どもが自転車の運転技術と交通ルールを学ぶ機会を提供し、自転車事故の防止を図った。

【実績】 開催費 1,586,190円

5回開催 参加者105名



↑自転車乗り方教室の様子

①令和6年度の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(4) 歩きスマホの禁止啓発

【概要】 歩きスマホ禁止の周知啓発活動

基金活用事業

- ・ 啓発ポスターの市内各所への掲出
(支所、中学校、高校、大学、京阪電車各駅及び車両内、JR各駅等)
- ・ 禁止啓発動画の情報発信 (高校生及び大学生による市町など)
- ・ 駅前での歩きスマホ禁止街頭啓発

【実績】 728,420円



↑京阪大津京駅

① 令和6年度の主な取組実績

(5) 高齢者運転免許証自主返納促進助成事業

新規事業

基金活用事業

【概要】

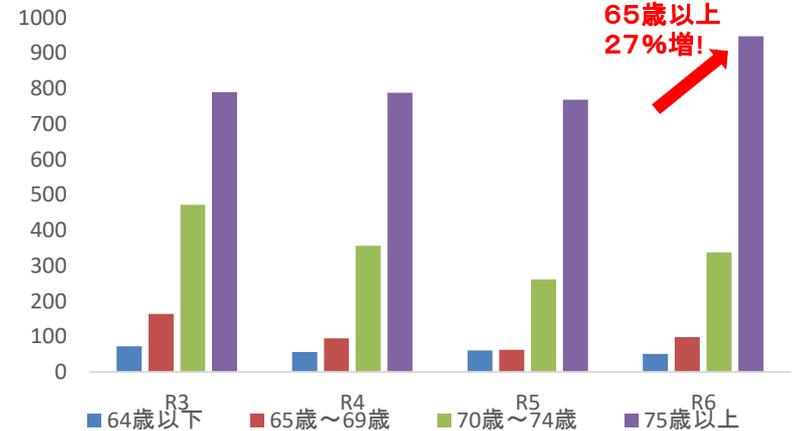
運転免許証を自主的に返納した75歳以上の高齢者に対し、公共交通機関等の利用に要する費用の一部を助成し、高齢者の運転免許証の自主的な返納を促進、高齢者による自動車の運転に伴う事故の防止を図った。

【助成内容】

- (1) ICOCA等の購入またはチャージ費用（上限6,000円）の助成
- (2) 公共交通共通乗車券6,000円分の交付
- (3) 自転車用ヘルメットの交付



大津市の免許返納者数推移



※自転車用ヘルメットのみ、満65歳以上が対象

【実績】

637件（ICOCA等補助 440件 乗車券交付 94件
ヘルメット交付103件）

事業費 3,857,300円

① 令和6年度の主な取組実績

(6) 交通安全フェア

基金活用事業

【概要】

交通安全功労者表彰、ゆるキャラと交通安全クイズ、ステージパフォーマンス、また、警察署や滋賀県、(公財)滋賀県交通安全協会等の協力により、パトカーや救急車など緊急車両の展示、プチカンガルー教室や交通安全VR体験など、交通安全を楽しく学ぶイベントを開催。

【実績】 来場人数 約1,000人
開催費 1,623,688円



②令和7年度の主な取組

第1 1次大津市交通安全計画の「対策を進める重点事項」に基づく取組の着実な継続

No	取組	予算
1	高齢者運転免許証自主返納等促進助成事業	6,240千円
2	交通安全フェア	1,930千円
3	子どもの自転車乗り方教室	1,102千円
4	幼児2人同乗用電動自転車購入助成制度	3,000千円
5	自動車後付け急発進等抑制装置設置助成制度	500千円
6	啓発・教育資材の貸出事業	160千円
7	地域への啓発用品支給事業	100千円

基金活用事業

本市独自施策（見通し確保のための植込撤去工事・道路等の見通しを確保するための指針の周知・生活安全マップ・生活安全ポータルサイト更新・歩きスマホの禁止啓発）も継続